

活動名		団体名	発達に何らかの課題のある中・高校生のサロンのサロン「てらこや」運営委員会
発達に何らかの課題のある中学生・高校生の居場所づくり		地域	広島県福山市
		代表者	代表 沖藤 隆
		支援金額	35万円
活動概要	<p>発達に課題のある中学生・高校生(青少年)等は、休日に行き場が少なく、社会経験を積む機会が乏しかったり、家に閉じこもりがちになったりするという課題があります。こうした課題を(少しでも)解決するためボランティアが月に1回~2回、気軽に集まることのできる居場所を開設しています。内容は買い物をしておやつづくりを行ったり、外出をしたり、そうしたことが苦手な人はテレビゲームで遊んだり、ボランティアや参加者同士の会話を楽しんだりしています。この居場所に参加することで、さまざまな体験を通してコミュニケーション能力を身につけ、自信をもつことで、自尊心を取り戻すことを目的に活動しています。この度、マツダ財団さんから助成金をいただき、調理教室や日帰りバス旅行(農業体験)さらに市民・学生等を対象にボランティア講座を実施し、ボランティアの育成にも取り組みことができました。</p> <p>◆実施時期 4月~2015年1月 福山すこやかセンター(福山市三吉町南2-11-22)他</p> <p>◆参加人数 調理教室・学習支援…383名(中・高校生, ボランティア) ボランティア講座…141名 社会体験活動…105名(中・高校生, ボランティア)</p> <p style="text-align: right;">参加総人員:629名</p>		



月に1回から2回、調理教室と学習支援活動を行いました。



社会体験活動の一環として「りんご狩りと農業体験」を実施しました。



「ボランティア活動」「障がい」について正しい理解を深めるとともに、「居場所」を支援するボランティアを育成・発掘するためボランティア講座を開催しました。



マツダ財団さん、ありがとうございました。

◆実施に伴う効果

- ・ボランティア講座に36人の社会人・学生・主婦が参加し、ボランティア・障がい等について正しい理解を深めるとともに、その内13人がこの居場所で継続的にボランティアとして活動してくれることとなりました。地域でボランティア活動の輪が広がりました。また、この講座を通じて多くの市民へこの活動を知ってもらうことができました。
- ・体系的な学習支援や調理教室などを行うことで参加者が増えました。また、専門の相談機関から発達に課題があるが故に約10年間家に引き籠っていた18才の青年の紹介を受け、ボランティアによる継続的な訪問と社会体験活動により、外へ出るきっかけをつくることができました。現在も継続的にこの居場所に参加しています。

◆苦労した点

特にありませんが、ボランティア講座を実施する際に参加者が集まるがどうか不安でした。

◆今後の課題・発展の方向性

ご支援をいただき、参加者が将来自立する時に役立つ内容(調理教室・学習支援)やコミュニケーション能力を高める社会参加活動などを体系的に実施することができました。参加者また保護者からも大変好評でした。今後、参加費を少し値上げしてでもこの活動は続けていきたいと思っています。

ボランティア講座についても、講師謝礼などの捻出は厳しいですが、ボランティアの体験談や交流・施設見学など費用のかからない方向で継続していきたいと考えています。

◆活動を終えての感想・意見等

私たちのような小さなグループに目を向けていただき、本当に感謝しています。ご支援をいただいたおかげで新しい参加者・新しい担い手(ボランティア)が入り、会がとても活性化しました。発達に課題があるが故に引き籠っている中学生・高校生が地域と再びつながることができるように活動を継続していきます。